多重引戸　TT-G型（SU-TT-G型）　組立説明書

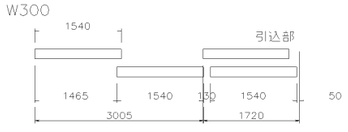
① 戸当り柱の位置を決め、基礎を設置します。
注）標準図面集を参考にしてください。

＜寸法表＞※GL～扉上端の高さはH120=1330ミリ、H150=1630ミリとなります

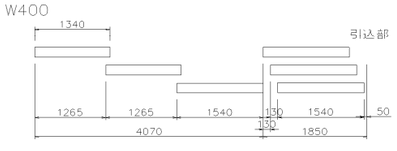
開き	高さ	幅	TT-G,SU-TT-G	
			有効幅　W	引き込み 有効寸法W´
			(mm)	(mm)
片開	H120	W300	3005	1720
	※	W400	4070	1850
		W500	5070	2050
		W600	6035	2180
両開	H120	W600	6020	1720×2
	※	W800	8150	1850×2
		W1000	10150	2050×2
		W1200	12080	2180×2
片開	H150	W300	3005	1720
	※	W400	4070	1850
		W500	5070	2050
		W600	6035	2180
両開	H150	W600	6020	1720×2
	※	W800	8150	1850×2
		W1000	10150	2050×2
		W1200	12080	2180×2

配置例

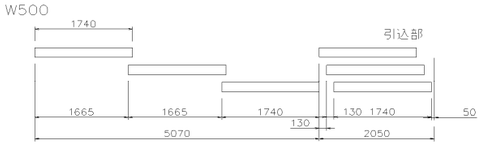
W300



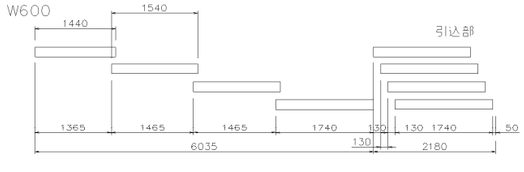
W400



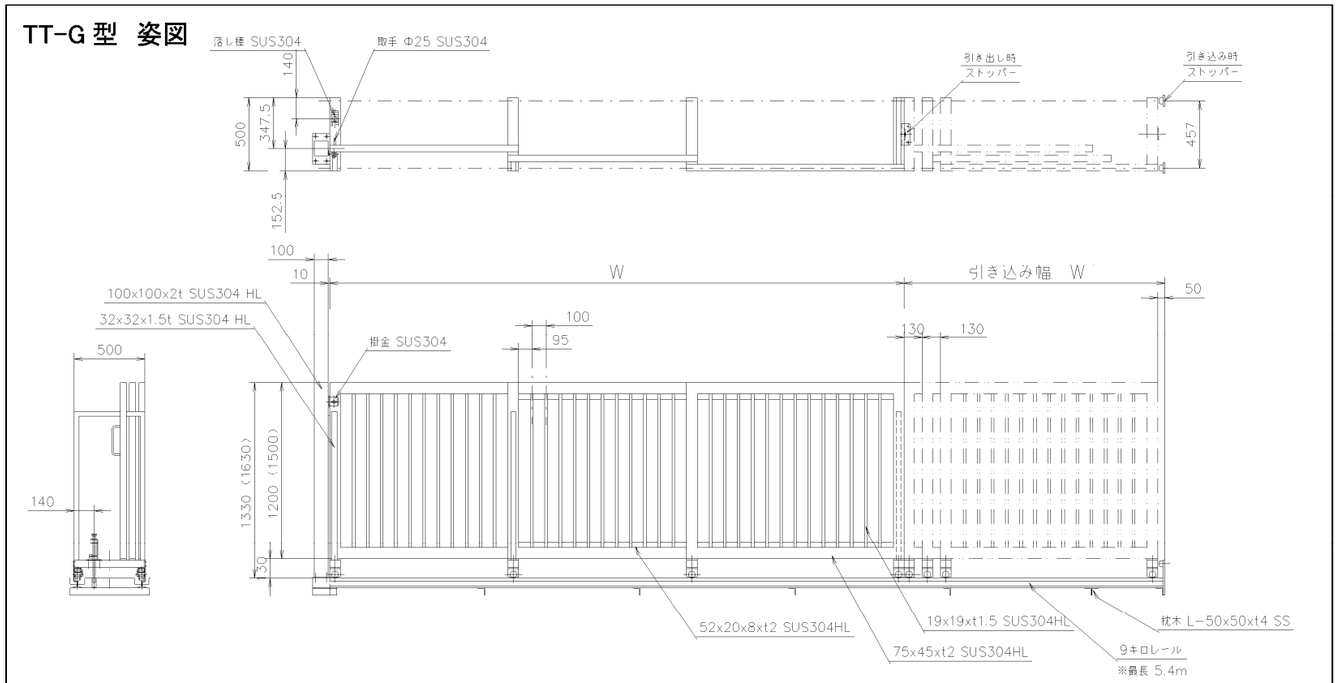
W500



W600



TT-G 型　姿図



① **レールを組んで下さい。**

・各レールをボルトでつないで下さい。

② **レールを埋め込みます。**

・水平に仮固定し、レールの逃げ及び水逃げ口を考慮し、コンクリートで固定してください。

・水平レベルを確実に出して下さい。

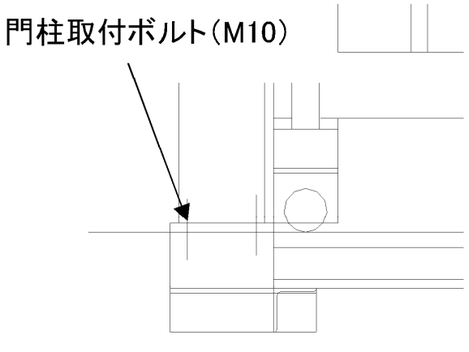
④ **柱を建てます。（片開の場合）（下左図）**

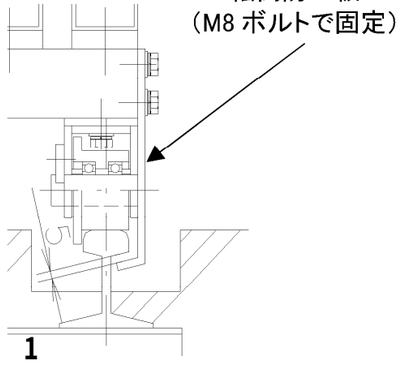
・柱はレール先端に M 10 ボルトで固定します。

⑤ **引戸をレールの上に設置して下さい。**

⑥ **転倒防止板をボルトで固定して下さい。（下右図）**

・レールとのクリアランスを約 5 ミリに設定して、ボルトで固定して下さい。





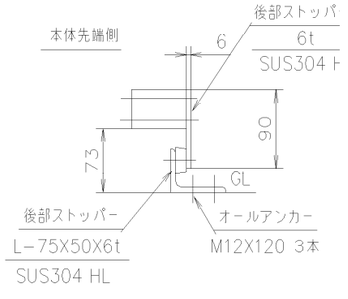
⑦ **戸当り柱に掛金を掛けて引戸を固定し、扉前方部の落とし棒の位置を決めます。**

→位置決め後、サヤ管を設置して下さい。

⑧ **扉を閉めて固定された状態で扉後部の引出し部ストッパー（下左図）の位置出しをして固定して下さい。**

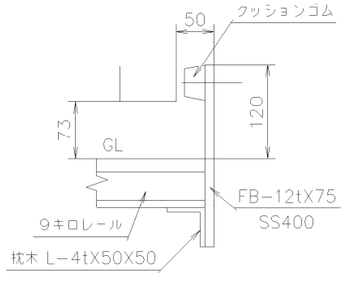
＜引出し部ストッパー＞

引き出し時ストッパー部詳細図
本体をいっぱいに引き出して先端位置を
確認後、後部ストッパーアングルを
オールアンカーで固定する



＜引き込み部のストッパー＞

引き込み時ストッパー部詳細図



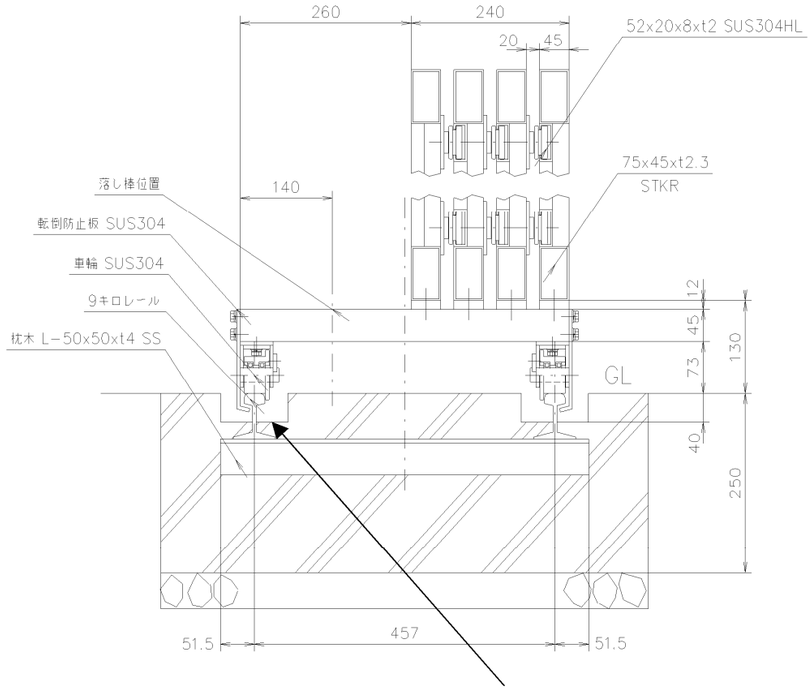
⑨ **動作確認をして下さい。**

・扉の開閉に異常が無いか点検して下さい。

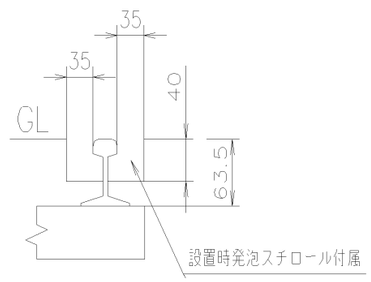
・戸当り柱の錠がスムースに掛かるか点検して下さい

部品数量表　　多重引戸　TT-G型（SU-TT-G型）

■ 参考基礎図 ■



＜レール部詳細＞



車輪ツバ及び転倒防止板の逃げミゾ寸法
両端に水逃げ口を設ける事

⚠ 注意

●施工注意点

①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。

②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。

③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。

④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。

⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。（スチール商品）

●取扱い注意点

①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。

②門扉を途中で止めて使用しないでください。全開、全閉で必ず落しをかけてください。落しをかけない場合門扉が自然に動く事があります。又強風等で門扉を破損することがあります。

JFE 建材 株式会社

201910-01